

## センター試験が行われました。共通テストについて知っておこう！

### 共通テストの基本的な流れ ～国公立大学編～

#### 1月中旬 共通テスト実施

当日：自分が志願している大学が指定する科目を受験する。自己採点できるように問題にチェックを入れておく。

後日：チェックをもとに自己採点し、河合塾などの予備校が配信する合格判定と比較し、2次試験をどの大学に出願するか決定する。自己採点が正しくできていないと正しい判定が得られない。

#### 1月下旬～2月初旬 2次試験（個別学力検査）出願

大学・学部ごとに実施される教科や科目が異なる。

#### 2月下旬～ 前期日程

原則として第1志望は前期日程で受ける。 → 合格発表

#### 3月初旬～ 中期日程

一部の公立大で実施されている。 → 合格発表

#### 3月中旬～ 後期日程

後期日程は前期、中期で決まらなかった場合の最終手段。

→ 合格発表

#### ～どのようにして合格が決まるか～

基本的には共通テストと2次試験の総合点で決まるが、配点比率は大学・学部ごとに異なるので蛍雪時代などでチェックしておこう

### 共通テストの基本的な流れ ～私立大学編～

私立大学にも共通テスト利用入試があり、8割以上の大学で採用されている受験方法である。方法としては共通テストのみを利用する場合（Aパターン）と、共通テストと個別試験の結果を総合する場合（Bパターン）がある。また、ほとんどの私立大学において一般入試（私立の一般的な受験方法）との併願が認められている。

出願（※共通テスト前に出願の締め切りがある大学の場合）

#### 1月中旬 共通テスト実施

出願（※共通テストの結果を見て出願できる大学の場合）

共通テストの結果のみで合否が決まる。



### 共通テスト利用のメリットとデメリット

#### 《メリット》

- ① 共通テストの結果のみで複数の大学に出願が可能なので、受験生の負担が少なく受験チャンスが増える。また、国公立大と併願しやすい。
- ② 一般入試では多くの場合、その私立大学のキャンパスで試験を受けるが、共通テストは最寄りの大学で受験することができる。いわき地区は医療創生大学で実施されている。

#### 《デメリット》

- ① 募集人員が一般入試と比較して少なく、逆に出願する受験生は多く、倍率が高い。
- ② 共通テスト受験前に出願期限がある「事前出願方式」の場合もある。

## センター試験から共通テストへの変更点

- 【国語】 実用文などの出題、複数テキスト
- 【英語】 発音・アクセント問題はなし、リスニング配点が2倍の100点・1回読みもあり  
設問が英語、単語量増加で読解力不可欠、難易度上昇
- 【数学】 問題文が長く、身近な事象を数式や記号に置き換える問題（国語力？）も出題
- 【社会・理科】 分野横断型の出題の可能性
- 【全教科】 ゼロマーク（正しい選択肢がなければゼロをマークせよ）

### 2月の行事予定

## 今年度の成績を決める！ 学年末考査

- 10日（月）学年末考査（～14日）
- 20日（木）メッセージコンテスト
- 21日（金）生徒個人写真撮影  
**受験用写真→整髪・服装**
- 22日（土）共通テスト早期対策模試
- 25日（火）3校時授業【入試準備】  
（12：30以降校舎内立入禁止）
- 27日（木）卒業式会場作成
- 28日（金）卒業証書授与式予行  
成績不振者指導（16：30～）
- 3月1日（日）卒業式
- 2日（月）代休

## プレゼンテーション講習会

リクルートから講師の先生をお呼びして、プレゼンの仕方を学びました。先生は東京大学教育学部卒でTED×UTokyoにも出場したと自己紹介されました。まさに、それが聴衆の感情を引き付けるテクニックだと、講演の中で知ることになります。

教えていただいた大事なポイントを押さえて、今後すぐに、総合学習や英語のメッセージコンテストで実践できるようにしましょう。



## 「所属する幸福感」から「幸福な所属感」

18D副担任 田崎 俊之

人間はある時ふと、独特な感覚に襲われることがあります。

ある高校に勤めていた20代の夏の日、出勤して上履きに履き替えた時、自分が毎日迷わずこの場所に来られることが、とても幸せなことだと感じた瞬間がありました。「この高校」という集団に所属する安心感、すぐそこに自分が座ることのできる机があるという安心感、自分のなすべきことがあるという安心感……あの感覚は今でもたまに心の中によみがえってきます。 【起】

そのことを後から振り返ってみると、大学を出た後に自分が当時やりたかったことへの不安や、社会的立場、将来の生活スタイルなど、多くの不安や迷いがずっと心の中にあり、職業を得たことによって、それら一つ一つの方向が自然に定まっていったということが関係しているように思います。 【承】

これを書いているのは1月18日（土）、センター試験第1日目の日です。今朝医療創生大学の階段を上ってくる17生たちの顔は、普段より引き締まって見えました。来年は皆さんがこのステップを、あるいはこの時期のステップを人生の中でどう生かすか、真剣に、そして現実的に考えるべき時です。 【転】

皆さんは将来何らかの集団に所属します。その時、できるだけ幸福な所属感を実感してほしい、これは皆さんを応援する多くの大人の願いです。学んだことを将来に生かすために来年のこの時期を乗り越え、最後は自分が安心して力を発揮できる場所へたどり着けるよう、今の努力を積み重ねていってください。 【結】